

第2学年国語科学習指導案

日 時 平成23年9月29日(木) 6校時
児 童 男子7名 女子9名 計16名
指導者 植本真理

1 単元名(教材名)

音読げきをしよう(お手紙) 光村図書 下 p. 4~p. 18

2 単元について

(1) 児童について

児童はこれまでに文学的な文章の「読むこと」においては、「ふきのとう」の学習で、書かれている語や文から様子をとらえ、挿絵や会話文に言葉を書き加えて想像を広げて読む学習をした。また、役に分かれて読んだり動作化をしながら想像を広げ、音読を楽しんだ。学習のまとめでは、好きなどころとそのわけを書いて感想を伝える学習をした。1年生への音読発表会では、会話文や地の文を、読み取ったことをもとに動きを入れて工夫して音読することができた。「スイミー」の学習では、場面ごとにスイミーの行動に着目して気持ちを読み取り、読み取ったことをもとに感想を書く学習をした。

本学級の児童は、詩の暗唱や音読に積極的に取り組み、語や文のまとまりに気をつけて読んだり、工夫して読むことができる子が多い。音読してすぐにその内容を思い描ける児童もいるが、理解するには繰り返しの必要がある児童もいる。また、書かれている言葉や文から、情報を取り出すことはできるが、場面の様子をとらえて想像を広げながら読んだり、様子や読み取った気持ち・思ったことを自分の言葉で書いたり発表したりすることは十分ではなく個人差が大きい。発表や交流では、理由をつけて考えを話したり友達の発表を聞いて考えを深めることができる児童は少ない。読書については、読書量が多い子もいるが、読む本に偏りがある子やじっくりと読んでいない子もいる。

(2) 主たる指導事項

学習指導要領第1学年及び第2学年の「C読むこと」の目標は、「書かれている事柄の順序や場面の様子などに気付いたり、想像を広げたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。」である。本単元の主な指導事項は、「場面の様子について、登場人物の行動を中心に想像を広げながら読むこと。」(読ウ)「語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読すること。」(読ア)である。

本単元の教材「お手紙」は、ちょっぴりわがままで、自分勝手ながまくんと、一生懸命相手に優しい言葉をかけるかえるくんが、友達の不幸せをいっしょに悲しみ幸せを共に喜ぶ温かい友情を感じ取れる物語である。特別な事件が起こるわけでもなく、四日遅れの、しかも内容の分かっている「お手紙」を仲良く待つ二人のほのぼのとした心の交流は、読み手の児童も幸せな気持ちになれる作品である。物語は二人の会話を中心に話が展開していき、その中に二人の人柄が表れているため、人物の様子や気持ちがとらえやすい。登場人物の行動と会話から場面の様子を読むことができる。そのために、文中の言葉を手がかりに、それぞれの場面を想像豊かに思い描かせていくことが大切となる。登場人物に共感するために場面のつながりと物語全体を見渡し、会話文と行動から人物像と心情を捉えさせていく。音読をすることで言葉をイメージしやすくし、想像を広げて読みを深めていく。

(3) 指導に当たって

本単元では、登場人物の行動や会話から気持ちを読み取り、読み方の工夫や登場人物の動きを考えたり、会話の続きを考えてセリフをつくったりして音読劇をすることを言語活動とする。

第一次では、単元のゴールまでの道筋を示し、場面の様子と気持ちを読み進める意識をもたせる。場面、登場人物、出来事を確認し、学習計画を立てる。

第二次では、登場人物の会話文や行動に着目し、言動のわけを考えて読み方を工夫したり、つぶやきや会話の続きを考えたりして想像を広げながら気持ちを読み取らせたい。挿絵にも着目し、場面の様子やがまくんの気持ちの変化を考える手がかりにしたい。個人差が大きいので音読をして登場人物になりきらせる。勝手な想像にならないように、叙述を基に根拠をもって自分の考えを持てるようにさせたい。

第三次では、第二次で学習したことを生かして他のお話の音読劇を発表し、感想を交流し合う。いろいろな考えがあることでさらに想像を広げ、物語を読む楽しさを味わわせたい。

3 単元の目標

(1) 国語への関心・意欲・態度

- ・主人公の行動や会話に注意しながら物語を読み、音読劇をしようとする。

(2) 読むこと

- ・語のまとまりや言葉の響きなどに気を付けて音読することができる。(1) ア
- ・登場人物の行動や場面の様子について、想像を広げながら読むことができる。(1) ウ

(3) 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

- ・主語と述語の関係に注意しながら、読むことができる。(1) イ (カ)

4 単元の評価規準 (B)

(1) 国語への関心・意欲・態度

- ・主人公の行動や会話に注意しながら、音読劇で自分の思いを表現しようとしている。

(2) 読む能力

- ・登場人物の気持ちが表れるように、語のまとまりや言葉の響きに気をつけて音読している。
- ・場面の様子を音読劇で表すため、登場人物の行動に気を付けて読み場面の様子を想像している。

(3) 言語についての知識・理解・技能

- ・主語と述語の関係を理解している。

5 学習指導計画 (読むこと 1 2 時間 全 1 2 時間)

段階	学習課題	学習活動 (時間)	評価規準 (B)
つかむ	・学習のめあてをもとう。	・全文を読み、好きなおもしろいところを発表し合う。 (1 時間) ・場面分けをし、学習計画を立てる。 (1 時間)	【関】気に入ったり、おもしろいと思うところを指摘したりしている。(発言) 【関】挿絵や登場人物の言動から場面わけをしている。(発言)

とらえ・ふかめる	<ul style="list-style-type: none"> だれの会話文かたしかめよう。 	<ul style="list-style-type: none"> 会話文の話し手を確認する。 出来事を整理する。 (1時間) 	【読む】地の文と行動から誰の会話文かを考えて印をつけている。(教科書)
	<ul style="list-style-type: none"> 二人の様子が伝わるような読み方を考えよう。 	<ul style="list-style-type: none"> 玄関の前の二人の会話から気持ちを想像し、読み方の工夫を考えて書き込む。 (1時間) 	【読む】玄関の前の場面の様子を想像し、読み方の書き込みをしている。(発言・教科書・ワークシート)
	<ul style="list-style-type: none"> 手紙を待つ二人の動きを考えよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ベッドで寝ているがまくんと、窓の外をのぞくかえるくんの様子を読み取り、会話に合わせた動きを考えて書き込む。 (1時間) 	【読む】がまくんの部屋にいる二人の様子を読み取り、動きを想像して書き込みをしている。(発言・教科書・ワークシート)
	<ul style="list-style-type: none"> お手紙を待っているがまくんのセリフを考えよう。 	<ul style="list-style-type: none"> お手紙のことを知らされたがまくんの様子を想像し、がまくんの考えたことを会話につけたしてセリフを書く。 (1時間 本時) 	【読む】うれしい思いになったがまくんの気持ちを想像して吹き出しに書いている。(発言・ワークシート)
	<ul style="list-style-type: none"> 音読劇の準備をしよう。 	<ul style="list-style-type: none"> 音読したい場面を選び、グループごとに書き込みやセリフを吟味する。 (1時間) グループで音読練習し、アドバイスし合う。 (1時間) 	【読ア】友達のアドバイスをもとに工夫することを決め、音読を工夫している。(発言・観察)
	<ul style="list-style-type: none"> お手紙の音読劇を発表しよう。 	<ul style="list-style-type: none"> グループごとに発表をする。 感想を伝え合う。 (1時間) 	【読ア】登場人物の様子や気持ちが表れるように発表している。(発表)
つかう	<ul style="list-style-type: none"> 他の作品を読んで好きな場面の音読劇をしよう。 	<ul style="list-style-type: none"> 音読したい場面を選び、グループごとに読み方や動き、セリフを考える。 (1時間) グループで音読練習し、アドバイスし合う。 (1時間) 	【読ア】場面を想像しながら工夫するところを考え、音読を工夫している。(発言・観察)
	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物になりきって音読げきを発表しよう。 	<ul style="list-style-type: none"> グループごとに発表をする。 感想を伝え合う。(1時間) 	【読ア】登場人物の気持ちを考えて音読している。(発表)

6 本時の指導

(1) ねらい

- ・お手紙が来るのを待っているがまくんの気持ちを想像することができる。

(2) 展開

段落	学習活動	時間	指導上の留意点・評価
つかむ	1 前時の学習場面を想起する。 2 学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">お手紙を待っているがまくんのセリフを考えよう。</div> 3 学習場面を音読する。	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・かえるくんが何度も窓の外をのぞき、手紙を待っていたことを確認する。 ・一斉読みをさせる。はっきりと正しく読むように気をつけさせる。 ・指名読み
ふかめる	4 学習課題を解決する。 (1) がまくんに手紙のことを打ち明けた時のがまくんの様子を捉える。 (2) 手紙の内容を知ったときのがまくんの様子を捉える。 (3) 「いいお手紙だ。」と言ったがまくんの気持ちを想像して会話文の続きを考える。	35分	<p>〈工夫①〉</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">記述に即して考えを持たせる工夫</div> <ul style="list-style-type: none"> ・二人の会話を確認する。 ・挿絵からがまくんの様子を読み取る。 ・「きみが。」の続きの言葉を考えさせる。 ・「ああ。」読み方を、1の場面の「ああ。」とくらべて音読させる。 <p>〈工夫②〉</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">自分の考えを表現する場の工夫</div> <ul style="list-style-type: none"> ・お手紙のことを聞いてうれしくなったがまくんのつぶやきをワークシートに書かせる。 ④ うれしい思いになったがまくんの気持ちを想像して吹き出しに書いている。 <p>〈工夫③〉</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">お互いの考えを交流し合う場の工夫</div> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のと比べながらペアで交流する。 ・そう考えたわけを尋ねる。
まとめる	5 書いたことを発表する。 6 学習のまとめをする。 7 本時の学習を振りかえり、次時の学習内容を確認する。	5分	<ul style="list-style-type: none"> ・発表したの中でのセリフを一つ入れて、教師はかえるくん、児童はがまくんの役割読みをする。 ・お手紙の音読劇の準備をすることを知らせる。

(3) 具体の評価規準

A うれしい思いになったがまくんの気持ちを想像して吹き出しを書き、その根拠を説明している。

B うれしい思いになったがまくんの気持ちを想像して吹き出しに書いている。

努力を要すると判断された児童への具体的な手立て

板書や挿絵に着目させて喜んでいるがまくんの様子や、手紙の内容を確かめさせる。

